

緩和ケアについて

★緩和ケアについて★

「緩和ケア」についてどのようなイメージをお持ちでしょうか？

「終末期ケア」、「ホスピス」など、ネガティブなイメージを持たれている方が多いのではないかと思います。しかし、それは大きな間違いです。国としても「緩和ケア＝最期の医療」という誤解が未だに払拭されずにいることを危惧し、2016年のがん対策基本法改正に伴い、緩和ケアの定義を「がんその他の特定の疾病に罹患した者に係る身体的苦痛若しくは精神的な苦痛又は社会生活上の不安を緩和することによりその療養生活の質の維持向上を図ることを主たる目的とする治療、看護その他の行為」と明記しております。

さらに、「緩和ケアが診断の時から適切に提供されるようにすること」と明確に示しております。つまり、疾患を問わず、どの時期からでも、あらゆる苦痛に対応する医療が緩和ケアであると国の法律で定められています。したがって、現在抱えている病気にお困りの方は誰でもいつでも緩和ケアを受ける権利があるのです。

★当院の緩和ケアの提供体制について★

当院の最大の特徴は緩和ケアの専門的トレーニングを受けた専門医から、いつでも、どこでも、緩和ケアを受けられる環境を有することです。つまり、

- ①緩和ケアを専門的に提供する「緩和ケア病棟」
- ②一般病棟へ入院中の患者さんに専門的緩和ケアを提供する「サポートティブケアチーム」
- ③外来通院中の患者さんに専門的緩和ケアを提供する「サポートティブケア外来」を有しております。

以上3つの部門にわたり、県内、東北地方でもトップクラスの質の高い緩和ケアを提供できる体制があります。お困りの方は、「どのようなご病気でも」、「いつの時期でも」ご相談いただければ幸いです。

私たち緩和ケアスタッフがみなさまの「より良く生きる」お手伝いをさせていただきます。



出典：日本緩和医療学会



ロ・のどのがん

三谷浩樹著(講談社)

舌や声、飲み込みの違和感には要注意！
診断から治療、リハビリの進め方までわかりやすく解説されています。



体が生まれ変わる 階段筋トレ

松尾タカシ監修(ナツメ社)

暮らしの中で、階段を利用して鍛え美しくなる。そんな健康生活トレーニングを、今日から始めてみませんか。



最強の野菜スープ

前田 浩著(マキノ出版)

がんや感染症に負けないように、健康で若々しく人生を生きるためにぜひお勧めの一冊です。



70歳が老化的に分かれ道

和田秀樹著(誌想社)

健康長寿のカギは「70代」にある。
健康に自立した晩年をおくるために参考になる本です。



奇跡のバックホーム

横田慎太郎著(幻冬舎)

22歳の若さで脳腫瘍と戦い、回復しない視力のためプロ野球選手を引退。最後の引退試合で見たプレーに感動します。



養老先生、病院に行く

養老孟司著(株;エクナレッジ)

養老先生はなぜ病院がきらいなのかその理由とは…。自分の老いと人生に向き合う著者の考え方は参考になります。

お勧めの一冊

『自律神経が整う！身体が生まれ変わる！不腸リセット』

ここで言う「不腸」とは、腸の調子が悪いことが原因で起こる体の不調のことです。腸の調子が悪いと聞くと、便秘や下痢などを思い浮かべると思いますが、それ以外にも腸内環境が悪化することで各臓器にも影響し、体の不調の原因にもつながります。

腸は「第二の脳」と言われ、体の各所の働きと密接な関係にあり、さらに幸せホルモンの分泌も促されるため心を安定させる働きもあるようです。

不腸をリセットさせる食事や生活習慣がイラストや写真を用いて書かれています。「最近、なんとなく調子が良くないな～」という方は、自分の身体を見直すきっかけとして手に取ってみてはいかがでしょうか。



(リハビリテーション部 石黒 幸恵)

【お知らせ】

本格的に寒くなってきましたね。冷えや運動不足、ストレスが溜まり、体調不良や関節痛などの症状が出てきそうですが、皆さん体調はいかがですか。全国的にコロナ発生数が減少し、福島県内も落ち着きを取り戻してきています。しかし、病院の体制としましては気を緩めることなく感染対策を徹底しているところです。“あづまっぺ”や“ウィッグ相談(メーカー介入)”などは、来年度からの開始を目標としていますのでご理解の程宜しくお願い致します。

がん相談は通常通り行っております。ウィッグは貸し出しもできますのでご相談下さい。

がん相談支援センター 古沢 しのぶ